

2021年 東部部会 第3回 研究報告会の開催報告

日本中小企業学会東部部会の第3回オンライン研究報告会は、オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催され、活発な議論が展開されました。

■日時 2021年8月12日(月) 12:00~13:00

■実施方法: Zoomによるオンライン報告

■参加者: 26名

■【研究報告】

報告者: 遠山 浩 (専修大学)

テーマ: 「産業集積と同族・ファミリービジネスへのガバナンス、アントレプレナー創出—技術集積の検討がポイント—」

報告内容:

産業集積におけるアントレプレナー、イノベーションの創出におけるファミリービジネスの可能性が報告された。産業集積を形成する起業の多くはファミリービジネスである。製品市場は産業集積内のガバナンスとして重要な役割を果たしており、アントレプレナーシップを発揮することで産業集積内への取引への参加のための条件ともいえる。この点でファミリービジネスはアントレプレナー輩出の重要な基盤といえる。また、ファミリービジネスの規模拡大に伴い生じるステークホルダーの多様化への対応、特に付加価値を創出し、分配することが必要となる。付加価値の分配は当該集積に優秀な人材(従業員を含む)を集めるうえでも重要である。こうしたプロセスにおいて重視すべきは技術集積と社会的情緒資産である。それぞれイノベーション、ガバナンスを効果的なものという役割を担う。報告では、以上の考察に基づき、付加価値の適切な分配を促すために福利厚生費に対する減税や、企業家輩出のための、同族・ファミリー企業の後継者育成、リカレント教育への支援などの政策含意が提言された。報告後のディスカッションでは、イノベーションにおけるファミリービジネスの役割や、都市型産業集積の広域化とアントレプレナーシップとの関連、産業集積内でのガバナンスのあり方などが全国大会に向けて議論された。

鈴木 正明 (日... kazumasa fujiw...

鈴木 正明 (日本大学) 遠山 浩 (専修大学) 堀 浩 (桜美林大学) kazumasa fujiwara

技術集積の視点(3/3)

図 機械金属工業の相互関係概念図

出所: 岡, 加藤(1990)p.10

- 【期待】地域の産業集積の力を基礎自治体が担い地域内企業の支援を強化
→ わくわく感がある地域・中小企業が増加 → 日本の国際競争力回復
- 【課題①】社会的情緒資産形成に資することが企業行動を律することにつながっている……解明は今後
- 【課題②】同族・ファミリー企業の後継者育成教育(リカレント教育)が重要 @ 地域 ……今後実現を検討
① 地域アントレプレナーシップ中核

16